



みんながつくる みんなでつくる みんな安心・福祉のまち

山鹿市社協だより

2014
春

第35号

キャッチボール



山鹿市 防災のつどい

主催 日本赤十字防災ボランティア山鹿あいの会・山鹿市社会福祉協議会 協力 山鹿市・山鹿植木広域行政事務組合消防本部

特集
高めよう防災意識!

特集 高めよう防災意識!	②・③
防災のつどい報告・地域防災の取り組み紹介	
赤い羽根共同募金報告	④・⑤
支所だより	⑥・⑦
ボランティア活動保険	⑧
自宅で出来る介護予防・成年後見Q & A	⑨
心配ごと相談予定表・社協福祉まつり報告 ..	⑩
市民後見人誕生のお知らせ	
ご寄付者紹介	⑪
ボランティア助成のお知らせ	⑫
市民後見人養成講座について・愛の一円塔報告	
社協の晩ごはん	

発行/社会福祉法人 山鹿市社会福祉協議会

〒861-0531 熊本県山鹿市中578番地 TEL:0968-43-1134 FAX:0968-36-9310

E-mail:yamaga@yamasha.or.jp URL:http://www.yamaga-shakyo.com/

ホームページリニューアルしました

この社協だより「キャッチボール」は、共同募金配分金の一部を活用させていただいています。

特集 高めよう 防災意識!

～第16回防災のつどい～ 平成26年1月17日(金) 鹿北市民センター前駐車場

毎年1月17日に、日赤防災ボランティア山鹿あいの会と山鹿市社会福祉協議会の主催で、防災のつどいを開催しています。

この事業は、山鹿あいの会（星子みづほ会長）が、阪神・淡路大震災を教訓に、日頃の災害に対する備えや災害が起こった場合の支え合う地域づくりを目指して始められました。

今年も山鹿市や多くの方々のご協力を得て、約300人の参加者に様々な体験や情報を発信しました。また昨年と同様に、災害ボランティアセンターの設置訓練も同時に開催し、非常時に迅速な対応ができる体制づくりと被災時における社協の役割や活動について、住民の方へ理解を得られるように努めました。

ハイゼックスという特殊な袋で、鍋の水は汚れていてもご飯が炊けます

電気の安全な使用についての説明

浄水器の実演

災害ボランティアセンター設置訓練

心肺蘇生法の訓練

防災グッズの展示

鹿北小学校の児童も参加されました

主催：日本赤十字防災ボランティア山鹿あいの会・社会福祉法人山鹿市社会福祉協議会
 後援：山鹿市
 協力：山鹿植木広域行政事務組合消防本部、山鹿市管工事業協同組合、日本赤十字社熊本県支部、グッデイ山鹿店、九州電気保安協会山鹿事業所、鹿本農業協同組合、大成セキュリティ(順不同、敬称略)

東日本大震災から早3年。そして2年前の九州北部豪雨災害。大きな災害が頻発したことで、県や市も防災対策に力をいれられています。近年、行政から携帯電話に防災情報メールが配信されるサービスも始まり、その情報からどのように行動したらいいか、非常時の備えにはどのようなものがよいか、私たち一人ひとりの防災意識を高めていくことが重要になってきています。そこで今回は、山鹿市内で地域防災に取り組んでおられる2つの地域をご紹介します。

鹿央・菊鹿の取組紹介

鹿央・千田校区 奥永区
平成25年設立

私たちの地区は、約200年前に沼地を開拓してできた新しい村で、住民の団結力がとても強い地域です。奥永区は、山に接していないので土砂災害の心配はないのですが、台風の際は風

菊鹿・城北校区 本分区
平成19年4月設立

「本分区福祉防災会」

私たちの地域は上本分区と下本分区合わせ119戸/345人と大変

小田一幸さん (区長)

徳永秀則さん (副会長)

萩尾俊一さん (会長)

を遮るものはありません。住民の方の多くが葉タバコを栽培されており、用水路などの河川管理も必要な地区です。また、地区の子どもたちは、3号線を超えて千田小学校に通うため、老人クラブの小田英二さんと小田映範さんが毎日下校時の見守りをしてくださっています。

前区長の小田正和さんが、防災組織立ち上げに向けて尽力され、昨年、1回目の防災訓練を行うことができました。老人会の方全員にご参加いただき、山鹿植木広域消防本部から心肺蘇生法と担架で人を運ぶ訓練をご指導いただきました。

今後の課題は、地区全体で防災意識を高めることです。一部のメンバーで地区を守ることはできません。区長が変わっても、区民全員で地区や住民を守る仕組み作りをしていきたいと思っています。

具体的には、菊池川や用水路が氾濫した際、避難場所として隣の地区の公民館を借りることができるよう要請をしていきたいです。また、菊池川流域の地区ということで、市や町を超えた連携を図っていききたいと考えています。

規模の大きな地域ですが、区民の約4分の1が高齢者の一人暮らしという状況です。本分地域には、5つの小部落があり、災害時には「情報・避難誘導班」と「救助・給食給水班」の役割でそれぞれ行動します。平常時は、老人クラブや消防団、子ども会といったグループで活動し、地域づくりをしています。

小部落の中の頭合(ずごう)地区では防災会の設立次年度から毎年防災訓練をしています。東日本大震災、九州北部豪雨災害などを教訓に、3年前から本分地区全域での防災訓練も始めました。2回の実施となる今回は、おおよそ各戸から1人以内

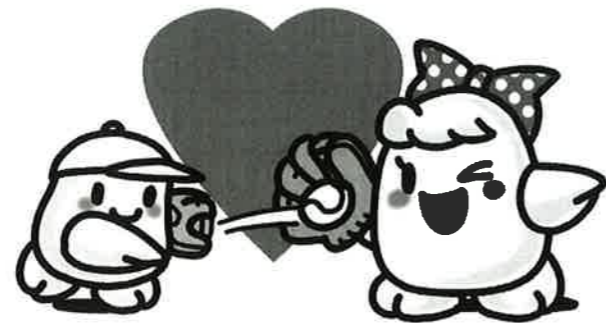
上に参加し、総勢150人での防災訓練。改めて、区民の皆さんが災害に対する危機感を持つておられることが分かりました。がけ崩れが起きやすい地形にある私たちの地区は、大雨や地震などの災害時、要援護者の救助についての課題があります。人手の少ない日中に災害が起きた時、高齢者の一人暮らしの方など「誰が誰を助ける」というところまで決めて、今後訓練しておく必要があると思います。そのためにも日ごろから、区民の方への声かけや見守りを大事にしていきたいと思っています。

●法人 (敬称略)

山鹿中央病院／熊野精肉店／あそしな米穀／栗原等商店／下田輪業／石貫工務店／サンエイメディカル／相互建設／相互電気設備／熊本利水工業山鹿支店／真生堂／西田建具専門店／九州三和鉄軌／サンエイ印刷／山鹿きぼうの家／園木事務器／金光教山鹿教会／池田醤油／ビル環境熊本／小川建設／井上自動車／鹿北自動車／C&Sのなか／鹿北ガーデン／藤本製茶／荒川建設／山本建設／古田製茶／竹熊建設／岳間の郷ひがし／鹿北生コン／フォレスト／稲葉工務店／工芸社ハヤタ／鹿北地区砕石業組合／芋生工務店／小林医院／岩野石油／幸の国木材工業／草野建設／オアシス／中村工務店／古城建設／鹿本森林組合／虎口建設／広見瓦工事店／アサヒ印刷／小栗郷／あいわらんど／城北コーポレーション／小山製茶／ENYA／古田薬品／地どり庵三蔵／琥珀の刻／天寿苑／河内サッシ硝子店／小林歯科医院／居酒屋大盃／小規模多機能ホームかほく／いわの観光バス／菊鹿電設／佐とう製茶／花富亭／菊鹿町自動車整備組合／マルヤマ／花四季彩／菊鹿葬儀社／矢野電設／きくか松岡クリニック／誠心会／平原食堂／鹿本観光／鹿本養鶏組合／サンテック／コーシン／丸山ステンレス工業／熊本小笠原工業／原田食品製造所／一法師工業／朝倉自動車商会／上村建設／梶川工業／鹿央運輸／土佐屋コンクリート工業／城嶋運輸／幡豆工業九州工場／幸村医院／松永石油／榊石油／幸村輪業・幸村商店／とみた牧場／ピーシャイン熊本工場／西村精肉店／侑秀システムサービス／ケアビレッジ箱根崎／明熊商会／あいら観光／大智会／共英デザイン／ヘアーサロン・ハート／鹿央生コン／森山自動車整備工場／栗原工芸／ふじもと歯科医院／三共ポリエチレン／中井ライスセンター／城設備／インテリア藤本／粋華設計／鹿央自動車整備／富田自動車／平川オート／陽光

●職域、学校募金、その他 (敬称略)

ミスターマックス／夢大地館／スーパーミカエル／山鹿市シルバー人材センター／鹿本農業協同組合本所／鹿本農業協同組合山鹿支所／鹿本農業協同組合山鹿支所北取次店／鹿本農業協同組合山鹿支所南取次店／平小城小学校／鶴城中学校／大道小学校／三玉小学校／山鹿小学校／三岳小学校／八幡小学校／山鹿中学校／米田小学校／山鹿市役所部長会／山鹿市役所課長会／山鹿警察署／山鹿市役所職員互助会／鹿本地域振興局／山鹿市中央民生委員児童委員協議会／山鹿市東部民生委員児童委員協議会／山鹿市西部民生委員児童委員協議会／山鹿市商工会／山鹿西保育園／山鹿東保育園／三玉保育園／平小城保育園／山鹿幼稚園／八玉保育園／三岳保育園／山鹿保育園／坂本大二郎／森澄子／宮本正義／古川芳史／棚倉トマ／草野蔦枝／鹿北はつらつ百年塾受講生／早田悦子／上田逸喜／鹿北町区長会／稲葉保枝／鹿北生涯大学／鹿北ゴルフ倶楽部／金原もみじ祭り／鹿北小学校／鹿北中学校／鹿北町民生委員児童委員協議会／あやすぎ荘／信末知也／広見保育園／かほくまつり／鹿北総合支所／Yショップ中村酒店／鹿本農業協同組合鹿北支所／鹿本農業協同組合鹿北支所岳間取次店／鹿北老人福祉センター／山鹿市老人クラブ連合会鹿北支部各単位老人クラブ／月足光和／菊鹿町民生委員児童委員協議会／つばみ保育園職員一同／つばみ保育園園児・保護者一同／菊鹿郵便局／菊鹿中学校／清楽園自治会／内田小学校児童会／古閑輝敏／城北アソカ保育園園児・保護者一同／城北アソカ保育園職員一同／城北小学校児童会／六郷小学校運営委員会／栗の実保育園／菊鹿中央保育園／内田保育園／矢筈荘／城北郵便局／山鹿市老人クラブ連合会菊鹿支部各単位老人クラブ／山鹿市老人クラブ連合会鹿本支部各単位老人クラブ／鹿本町地域婦人会／鹿本町民生委員児童委員協議会／稲田小学校児童会／中富小学校児童会／来民小学校児童会／鹿本中学校生徒会／鹿央町民生委員児童委員協議会／かおう保育園／米野岳小学校／米野岳中学校／山内小学校／千田小学校／山鹿市老人クラブ連合会鹿央支部各単位老人クラブ／立山和代／藤本雅弘／山鹿市社会福祉協議会職員



平成25年度 赤い羽根共同募金

募金総額 9,488,795円

温かい思いやりありがとうございました。

10月より「じぶんの町を良くするしくみ。」をスローガンに全国一斉に赤い羽根共同募金運動を実施しました。期間中は市内全世帯に協力を呼びかけた戸別募金をはじめ、関係団体、企業、学校等、皆様のご理解とご協力を賜り、次の通り実績をあげることができました。いただきました募金は、熊本県共同募金会へ送金し、その配分金を来年度の福祉事業費として活用いたします。皆様からのあたたかいご協力ありがとうございました。

戸別募金	6,851,236円
街頭募金	225,966円
法人募金	705,545円
学校募金	352,966円
職域募金	590,686円
その他の募金	762,396円



ミスターマックスでの街頭募金



城北アソカ保育園からの募金



ふるさとじまんまつりでの街頭募金



鹿央まつりでの街頭募金

菊鹿 「子どもたちへ伝えたい、山鹿の素晴らしさ」

～「ふる里自慢集」制作に向けて～

「山鹿もてなしたい(山本博代表)」は、様々な職種の方々が集まって「山鹿を元気にし、訪れた方々に喜んでいただける山鹿」にすることを目的に活動されています。



その中で、山鹿の素晴らしさを次世代の子どもたちへ伝えるため「ふる里自慢集」を作りたいとの思いから、1月に小規模多機能ホーム音色、2月は8区ふれあいサロンを取材訪問されました。

郷土料理や子どもの頃食べていたおやつの話、遊びについて地域の方々と「ご当地漫談」を楽しまれ、その地区ならではの風習に気付かれたそうです。当面は菊鹿地区を取材されます。今から「ふる里自慢集」の出来上がりが楽しみです。



人と人がつながって「絆」 鹿本

2月7日(金)鹿本地区の福祉嘱託員、民生・児童委員、福祉協力員の合同交流会が開催されました。

意見交換会では、安谷美智子氏(福祉嘱託員兼民生・児童委員)による地域連携についての事例発表。また、講演会では上田啓介氏(タレントの上田アニ)の『縁を大事に絆を育む～つなげる つながる 絆の力～』をテーマにして、ご自身の経験から「あたえられた縁を大事に絆を深め、相手に対しても思いやりをもって接してほしい。絆とよべる人間関係を築いて、より地域を盛り上げてほしい。」と、ときおり笑いをまじえながら話されていました。

今後も、ますます地域の絆が強まり、地域福祉の連携がよりよいものになることを期待します。



鹿央 鹿央地区 三者合同研修会

2月15日(土)に鹿央地区の福祉嘱託員(区長)、民生・児童委員、福祉協力員の三者合同研修会が開催されました。

最初に村田福祉嘱託員会長から「災害はいつ起きるかわかりません。防災に必要なことは普段の住民同士の密接な人間関係です。今日は先進地の阿蘇市の取り組みを皆でしっかり学びましょう。」と挨拶がありました。

この後、阿蘇市社会福祉協議会の山本由紀子さんから阿蘇市やまびこネットワークについて紹介があり、「災害発生時にあわてなくても良いように、日頃から住民同士の声かけ・見守り活動を行い、情報交換をしておくことが大切です。」と話されました。

参加された皆さんも、住民同士の声かけ・見守りの大切さとともに、福祉嘱託員、民生・児童委員、福祉協力員の三者の連携の必要性を痛感されたご様子で、有意義な研修となりました。



ふれあいサロン150回 開催おめでとうございます

三岳 中津留「出逢いの会」～平成13年9月設立～

「出逢いの会」は、今年2月で開催150回を迎えました。設立当時から代表をされている古家信子さんは、「こうして続けられるのも、みんなの協力があってこそ。150回も続いてとてもうれしい。」と、話されました。古家さんは、第1回から今までサロンで行った内容をノートに書き留められており、サロンの歴史と思いがぎっしり詰まっていた。今回は、150回記念として菊鹿地区のボランティアグループ「お手玉を楽しむ会」から、



代表の古家信子さん(左)と会計の池田ヤス子さん(右)

お2人が来られました。お手玉は、みなさん小さい頃から楽しんでいたのもとても目が生きて。右から左へとお手玉を投げたら、今度は逆方向へ。これには参加者さんも「同じ方向じゃないと難しか」と苦笑い。練習後は、水前寺清子の『三百六十五歩のマーチ』など、曲に合わせてお手玉演舞を楽しみました。

今後も、楽しみながらサロン活動が続いていくことを願っています。

鹿北 ドンドヤで地域の輪

1月12日(日)、岩野校区田淵地区は、あったか地域活動助成金を活用して、毎年恒例のドンドヤを開催されました。事前に役員による打ち合わせを行い、当日は準備に全戸から1名ずつ参加され、また消防団の協力もあり、あっという間に見事なやぐらが出来上がりました。

参加者は、地区住民だけでなく、ドンドヤに合わせて帰省した方など約60名。年男によりドンドヤに火が入れると、やぐらの周りでは、餅を頬張りながら会話を楽しんだり、お年寄りが子ども達に竹細工を教えるなど、大いに盛り上がり、笑いの絶えないひと時でした。

田中区长さんは、「住民が住みやすく、また田淵出身者が定年後、帰ってきて定住されるようなふるさと作りをこれからも取り組んでいきたい」と語られました。



『口の寝たきり』を予防しましょう

このような状態になっていませんか

- 虫歯を放ったままにしている
- 人と話す機会がない
- 固いものを食べない
- よくむせる
- あわない入れ歯で我慢している
- 口がかわく

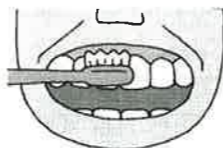
体は動いても「口の寝たきり」に！

低栄養状態・脱水 誤嚥・窒息 運動機能の低下 生きる楽しみの消失

口腔の機能を向上させましょう

1 毎日の口腔の手入れを欠かさずに

- 歯を磨くときは、歯と歯茎の境目に歯ブラシの毛先をあてて、時間をかけて丁寧に磨く
- 歯だけでなく舌や頬の内側もきれいにする
- 入れ歯ははずしてみがく



2 口腔の体操を習慣にしよう（くちびる、頬、舌に着目して）



●口を閉じたまま頬を膨らましたりすぼめたりする



●口を大きく開けて舌を出したり引っ込めたりする



●唇をすぼめたり、横に伸ばしたりする

3 しっかりかんで食べよう

4 食べる姿勢に気をつけよう

5 家族や友人とのおしゃべりを大切に

6 歌を歌ったり、早口言葉を言ったりする

お問い合わせ先
山鹿市地域包括支援センター
電話 43-1077

Q&A

やまが成年後見センター

よくある質問

成年後見制度について、シリーズで連載させていただきます。

Q1 成年後見人として、本人の面会に行くときの交通費は、本人のお金から出費してもよいですか？

A1 後見事務を行うにあたっての交通費は、必要費として認められます。ただしバスや電車といった料金が客観的な公共交通をお使いください。ご自身の車を使ってガソリン代を必要費に計上することは、適正を欠く場合がありますので注意してください。公共交通機関が不十分で、自家用車で移動しなければ後見事務に支障をきたす場合には、ガソリン代の計上についてあらかじめ家庭裁判所と打合せしておくことをお勧めします。

Q2 本人のお金を使い込んだり、本人の不動産を勝手に処分したり、あるいは本人のために何もしなかったりした場合など、内容によっては成年後見人を解任されることもあります。

A2 本人の行いによって本人に損害が生じた場合は、損害賠償責任を負うこととなります。損害賠償責任は身内だからといって免除されるものではありません。場合によっては、後任の成年後見人から責任追及されることになりま

Q2 成年後見人が不適切な業務を行った場合は、どうなりますか？

また、タクシー代として、何千円もの出費も控えるべきです。後見業務は、適正な方法で遂行すべきものです。

成年後見制度についての相談や不明な点がありましたら、お気軽にご連絡ください。

やまが成年後見センター
電話 36-9211

安心を支えます

ボランティア活動保険

日本国内のボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- ボランティア活動のための学習会・会議などの事故も補償
- ボランティア自身の食中毒・熱中症・特定感染症もOK
- 天災タイプでは、地震・噴火・津波によるケガもOK



※被災地支援に行かれる場合は、お住まいの市町村の社会福祉協議会で加入して出発してください。現地受付の簡略化に貢献できます。

年間保険料	Aプラン	300円	Bプラン	450円
	天災A	460円	天災B	690円

天災タイプもあります。※各プランの補償金額・内容などの詳細は、社協へお問合せください。

保険金の支払い例

●ケガの補償



清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。



ボランティア活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなられた。



活動中、食べた弁当でボランティア自身が、食中毒になって入院した。



入浴ボランティア活動中、誤ってお年寄りにケガをさせた。



家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこわした。



自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。

●賠償責任の補償

《ご加入いただける方》

☆社会福祉協議会(社協)に登録されているボランティア(個人・グループ・団体)

《対象となるボランティア活動》

- ①グループの会則に則り企画・立案された活動
- ②社協に届け出た活動、または社協に委嘱された活動

《対象とならないボランティア活動》

- ◎PTA、自治会、町内会、老人クラブなどボランティア活動以外の目的でつくられた団体・グループが行う組織運営や団体構成員の親睦のための活動
- ◎自発的な意思による活動とは考え難いもの
(例)・学校管理下にある先生や生徒の活動 ・免許、資格、単位取得を目的とした活動など
- ◎保険上対象外となっているボランティア活動
(例)・野焼き・山焼きを行うまたはチェーンソーを使用する森林ボランティア活動など ・銃器を使用する害獣駆除ボランティア活動

《補償期間》

平成26年4月1日午前0時～平成27年3月31日午後12時まで
〈中途加入の場合〉
申込手続き完了日の翌日午前0時～平成27年3月31日午後12時まで

ポケットの中の善意

愛の一元塔

山鹿市役所駐車場の一角に建っている黄色い塔。この「愛の一元塔」は、昭和34年に、九日町の故堀川二作氏が、「恵まれない人のためにポケットの中の一円玉を出しあったらどうか」と提唱し、実現したものです。毎年12月に、開塔させていただいています。

皆さんの心のこもったご寄付は、今年、148,504円にのびりました。いただいたご寄付は、すべて山鹿市の福祉事業に役立てられています。

たくさんのご厚意、ありがとうございます。



ボランティア活動助成のお知らせ

ボランティア活動をされている団体の皆様へ

社会福祉協議会では地域のボランティア活動の活性化を図るために、時代にあった先駆的な地域福祉活動を行っている団体（小地域、ボランティアグループ、学校、NPO等）を応援します。

- 助成上限額 1団体あたり50,000円以内
 - 助成団体数 30団体
 - 申請期限 平成26年4月30日（水）まで
- ※山鹿市ボランティアセンター運営委員会において審査させていただきます。

市民後見人養成講座 受講者募集のお知らせ

対象者

山鹿市に住民登録があり、成年後見制度に関心のある方及び将来市民後見人として活動できる方を募集します。

※なお、後見活動は通常、平日の日中が基本となります。受講後、実際に後見活動が可能な方のみ応募下さい。

期 間：5月10日（土）～11月8日（土）
（全講座10回） 午前10時～

募集人数：10人
募集期間：4月1日（火）～4月25日（金）
参加費：無料

※詳しくはお問い合わせください。
場 所：山鹿健康福祉センター他
問合せ 山鹿市社会福祉協議会 やまが成年後見センター
☎36-9211

社協の晩ごはん

はんぺんのパン粉揚げ (4人分)

社会福祉協議会では、自分で調理することが困難な高齢者のために月曜日から土曜日まで、夕食のお弁当配達を行っています。その中のメニューから、今回は「はんぺんのパン粉揚げ」のレシピを紹介します。

【作り方】

- ①タマネギはせん切りにする。きくらげは水に戻し、沸騰したお湯で茹でる。
- ②はんぺんは麺棒（又はマッシャーなど）で潰す。
- ③ボウルにすりみ、はんぺん、タマネギ、きくらげ、紅生姜を入れ混ぜ合わせる。
- ④③を丸く形成し、小麦粉、溶き卵、パン粉の順に付けていく。
- ⑤中火にかけた揚げ油で7～8分揚げる。



<材料> 4人分

- すりみ……100g
- タマネギ…1/2玉
- 紅生姜……少々
- 卵……………適量
- 揚げ油……適量
- はんぺん…2枚
- きくらげ…少々
- 小麦粉…適量
- パン粉…適量

- 本所・山鹿支所 ☎43-1134
- 鹿北支所 ☎32-2696
- 鹿本支所 ☎46-2206
- やまが成年後見センター ☎36-9211
- 菊鹿支所 ☎48-5060
- 鹿央支所 ☎36-3811